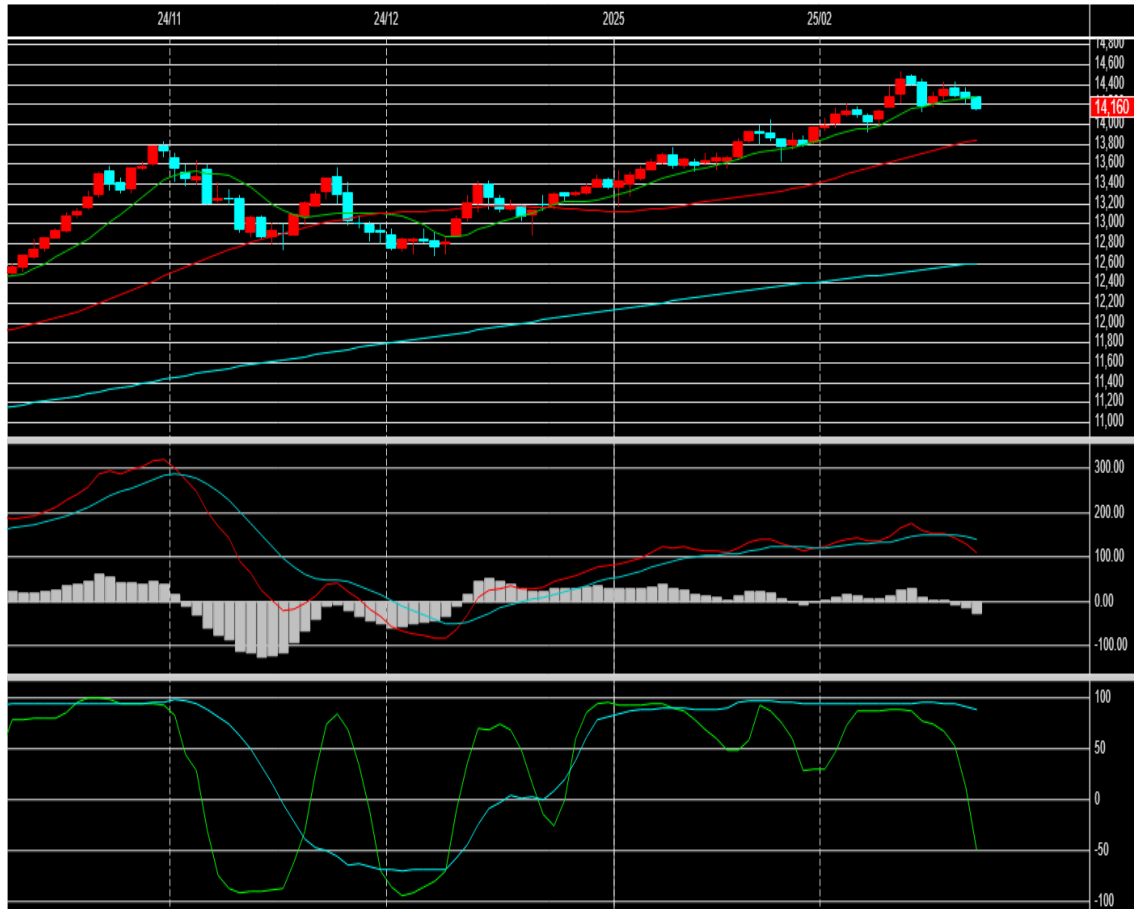


<金標準、リースレートの低下など修正安への懸念・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は就任以降、カナダやメキシコに対する 25%の関税、中国には 10%の追加関税、鉄鋼やアルミニウムに対して 25%の関税、相互課税の大統領書に署名、自動車に対する輸入関税、週末にはデジタルサービス税を課している諸国に対し関税を課す方向で大統領覚書に署名するなど、関税発動の脅しを掛けている。しかし発動に至っているのは中国に対する 10%の追加課税だけである。特にトランプ大統領は、ユニバーサルベースライン（世界一律）10%の関税発動を示した事で金にも関税が課されるとの憶測からロンドン市場から NY 市場へ金現物が移動する動きを見せ、先週も 27 トン増となり、年始から 510 トンの金現物が移動している。しかし相互課税へ移行した事もあり、リースレートは一時 5.6%まで上昇したが、大統領就任以前の 1.4%まで低下し、金先物と現物価格の差が 50 ドルから 14 ドルまで低下するなど上昇要因の内容が変化しており、目先価格修正の値動きに金標準先物で 14000 円割れには注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACA が切り下げながら、シグナルも切り下げだし、RCI では短期が下げながら、長期も切り下げるなどオシレーターは弱気を示唆していると思え、40 日移動平均線が位置する 13847 円に向けた値動きに思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,065,000 円(2025 年 2 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2025 年 2 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>